

2019年度

期総括

ダイジェスト版



北陸エリア



京滋・奈良エリア



大阪・兵庫・和歌山エリア

全国大学生生活協同組合連合会 関西北陸ブロック

関西北陸ブロック方針について

ブロック方針の位置づけ

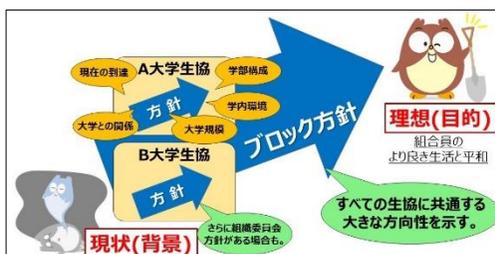
「関西北陸ブロック方針」とは、関西北陸ブロックに所属する48大学生協すべてがあらゆる「取組み」(*)を通じて、1年間「**組合員のよりよき生活と平和**」の実現に向けて意識していく方向性を示したものとなっています。

私たち大学生協同組合は、設立された当初から、「組合員のよりよい生活と平和」を実現していく組織として歩みを進めています。これは、時代が変わっても、変化しないアイデンティティとして存在しています。

その中で、現在の大学生協がどのような組織であるべきか考え、組合員を取り巻く社会や大学の変化、それに影響して生じる組合員の生活の変化に応じて柔軟に対応していくことが求められます。現時点での関西北陸ブロック48会員生協での到達点と社会・大学の変化を踏まえて、**すべての会員生協で共通して意識していく大きな方向性として本方針を設定します。**



▲図①：ブロック方針の位置づけ



▲図②：各会員生協の方針との関係性

各会員生協の方針との関係性

多くの会員生協では、総会・総代会などの場で議決された単協としての「方針」や「事業計画」などが存在しています。また、部署ごとの方針や年間計画、組織委員会としての方針(「学生委員会方針」など)を取り決めている生協も存在します。

「関西北陸ブロック方針」は、これら各会員生協での方針や計画に対して別途存在するものではなく、**そういった方針や計画を包含する大きな方針**として存在しています。ブロック方針の策定では、各会員生協のビジョンと現時点での到達を踏まえて、全会員生協に共通する普遍的な内容を盛り込むよう意識しています。

したがって、**各会員生協の方針や計画だけではなく、ブロック方針への理解も深めることで、それぞれの生協がより安定的に・発展的に目指しているビジョンを実現することができる**と考えています。

(*)全国大学生協連2019年度活動方針に則って、これまでは主に商品・サービスを中心とするものを「事業」・組織活動を中心とするものを「活動」と表記してきたが、以降区別せず「取組み」として表記しています(なお正確な意味での「事業」は生協の目的に沿って行われる活動全般を指します)。

関西北陸ブロック方針の構造

2019年度以降の関西北陸ブロック方針は「組合員のありたい姿」と「実現に向けて」の大きく2点で構成されます。



組合員のありたい姿

私たち組合員がよりよき生活と平和を実現していくために、**組合員一人ひとりが「このような姿であるべき」「このような姿になりたいな」という組合員の姿勢**を表現しているものです。したがって、文章の主語は各大学生協の「組合員」となっており、長期的な視野でこのような組合員が増やしたいという方向性を示しています。

実現に向けて

上記の「組合員のありたい姿」を組合員が実現できるよう、**それぞれの大学生協がどのような点を意識して取組みを進めていくべきか**を示しています。したがって、文章の主語は「大学生協/関西北陸ブロックの48会員生協」となっており、前年度の到達を踏まえて単年度で振り返る方向性を示しています。



組合員のありたい姿(1)：ともにつくる

大学生協の魅力を実感し、運営に主体的に参加・参画することで、よりよい生活をともにつくっていく組合員

実現に向けて①

大学生協の魅力を高め、協同組合の想いに共感する組合員を増やすため、組合員の様々な願いを汲み取り、お店をはじめとする事業や活動に組合員が参加できるようにしましょう。

方針書にある課題	19上半期の成果	19下半期に向けた課題
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 様々な組合員の声や願いがお店に集約される仕組みや、その内容が理事会や各種会議において共有・議論される仕組みづくりをすすめましょう。 ✓ 自発的な生協加入と運営参加につながるよう、大学生協の想いと活動内容を紹介する取組みをすすめましょう。 ✓ 学部学生に限らない、大学の構成員すべてに生協加入を広げ、様々な階層の声を大切にしましょう。 	<p>新学期の時期に自分の言葉で大学生協の魅力を生協加入や保護者に伝えられている会員生協が多く見られた。組合員の声に対応している活動も多かった。また、学部生だけでなく院生や留学生、教職員の組合員参加を促している活動も見られた。大山牛乳試飲会の実施も多く、組合員が店舗に集い、交流する場が提供された。</p>	<p>ひとことカードの活動は継続しているが、知ってもらったり活用してもらったりなどの工夫はあまり見られなかった。職員会議や学生委員会などで話してもらえるようにブロックとしてもアプローチが必要である。生協加入の面で言えば、学部生へのアタックは多かったが、留学生や院生、教職員に向けてのアプローチが少なかった。</p>

実現に向けて②

総(代)会を軸とした活動や、組織委員会活動をはじめとする組合員主体の自発的な活動ができるようにしましょう。

方針書にある課題	19上半期の成果	19下半期に向けた課題
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 総(代)会を軸に年間を通じた総代(組合員)活動・総代(組合員)との接点作りをしていきましょう。 ✓ 意思決定機関としての理事会・監事会の位置づけを確認し、組合員の声が反映されるようにしましょう。 ✓ 組織委員会活動をはじめとする組合員主体の活動を活発にしていきたいと思います。 	<p>いくつかの単協で総代会議・総代交流会などが見られた。また、総(代)会実出席を増やすために当日の総(代)会企画を実施している単協が多かった。エリア学生委員会(学生委員長会議)や全体専務会議での事務局からのアプローチにより、総(代)会への問題意識が学生の間でも生まれ、例年とは少し違う形で総(代)会運営に取り組む単協が多くみられた。</p>	<p>総(代)会準備や日々の取り組みにおいて、学生委員以外の理事との関わり見受けられるものは少なかった。総代ひいては組合員が日常的に運営参加できるような場づくりをさらに増やしていきたい。</p>

実現に向けて③

連帯の力を生かし学びあい・高めあうことで、大学生協の魅力をもっと高めましょう。また大学・関係団体・地域そして社会から信頼される生協にしていきたいと思います。

方針書にある課題	19上半期の成果	19下半期に向けた課題
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 大学生協の連帯活動や、協同組合間協同を通じて、大学生協の魅力を高めましょう。 ✓ 大学との定期懇談・活動報告を計画的にすすめましょう。大学の信頼関係づくり、よりよい大学づくりのパートナーとして連携することで、組合員のよりよい生活をともに実現していきましょう。 ✓ 大学・関係団体・地域・社会から信頼される組織作りを進めましょう。 	<p>取り組みを考える際に全国の大学生協の事例を参考にしている単協があった。また、ゼミやサークル団体などとの連携で生まれた活動もあった。</p>	<p>活動の可能性を広げられる関係団体との連携があまり多くなかった。コンプライアンスに関する動きは盛んではなかった。</p>



組合員のありたい姿(1)：ともにつくる

大学生協の魅力を実感し、運営に主体的に参加・参画することで、よりよい生活をともにつくっていく組合員

実現に向けて①

滋賀医科大学生協
「餅つき」(K's NEWS Vol.030)

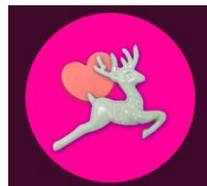


毎年年末に行っている取り組み。学生委員会がない生協ですが、**理事会構成メンバーが中心**となって企画しました。生協職員や大学教職員、理事会の学生メンバーなどの密なかかわりが見られました。

学部生だけでなく、大学教職員の方だけでなくマレーシアからの留学生など**様々な階層からの参加**があり、生協全体での餅つき企画となりました。

実現に向けて②

奈良女子大学生協
「上級生委員会SUNNY設立」
(K's NEWS Vol.041)



組合員の一人である上級生や院生特有の想いを実現できない現状がありました。そこで、上級生のよりよい生活のため、上級生ならではの視点を生かせる組織として2019年3月に上級生委員会を立ち上げました。

Twitterや食堂の卓上POP、ポスターなどでの情報発信を中心に活動しており、卒業生向けに出資金の返還ついでや大学院進学者向けに継続加入の方法を伝えたり、消費者問題について啓発活動を行ったりしています。

実現に向けて③

福井大学生協
「書初め大会&お汁粉配り」



書道部との**コラボ企画**。参加者には今年の抱負を書いてもらい、書道部の方々に添削してもらいました。それぞれのTwitterアカウントの周知も行いました。食堂の中心で行うことで、**多くの組合員が参加**し、新年に楽しんでもらえました。

ブロックでは…

関西北陸ブロック
「四半期ごとのポイント提案」



会員生協に対して「組合員の運営参加」に関するポイントを四半期ごとに分けて提案しています。ブロック運営委員会での議論や過去の事例もとに作成し、全体専務理事会議やWebも駆使して多くの人にポイントを伝えました。

[広報]での工夫

奈良県立大学生協
「総会に向けた広報活動」



総会に向けて、TwitterやInstagramで**視覚的に周知**しました。GI内でのコンペ形式で行うことで、多くの学生委員が広報にかかわりました。新入生も一緒に取り組みました。



[店舗]での工夫

大学生協事業連合 関西北陸地区
「大学生協牛乳の新パッケージ」



昨年度から各会員生協で試飲会や**組合員投票**などを実施して、5月から新パッケージで販売を開始しました。



下半期、ブロック事務局は…
✎ 引き続き、四半期ごとにポイントを示しながら、年間を通じた組合員の運営参加を促すように提案・フォローをしていきます！
✎ うまく総代ひいては組合員との接点を作っている事例を積極的に拾い上げ、学び合いにつなげます。



下半期、会員生協のみなさんは…
✎ 年間を通じて組合員の参加を促すことができるように、それぞれの取り組みにおいて様々な参加の形を考えていきましょう！
✎ 学生と職員と一緒に大学生協の取り組みを行いましょう。
✎ 様々な組合員へのアプローチを考えていきましょう。



組合員のありたい姿(2)：安全・安心

安全・安心にキャンパスライフを送り、健康な心身で何事にもチャレンジしていける組合員。

実現に向けて① 心身の健康について目を向けることが、大学生生活の充実やその先の将来にもつながっていることを気づけるよう、**実態に応じた取り組みを広げていきましょう。**

方針書にある課題	19上半期の成果	19下半期に向けた課題
<ul style="list-style-type: none"> 健康づくりの取り組みを行い、組合員に健康へ意識を向けてもらいましょう。 大学の特徴や季節に応じた予防活動に取り組ましましょう。 生協食堂などの場や食育の活動で食事の一つ一つが身体を作っていくことを知ってもらいましょう。 	<p>新学期の食堂利用体験で大学生協の食堂やそこで提供されているメニューの紹介を行うことで、新入生とその保護者が大学生活での食生活について考えるきっかけを作ることができていた。</p> <p>また、新たな生活が始まったからこそ注意すべきことなどを意識できる活動が多くみられた。</p>	<p>2018年度からの継続課題として「予防活動」を行えていても活動自体が目的化していて、組合員の実態に目を向けられていない取り組みも少なからず存在する。</p> <p>また「この時期だからこそ伝えられること」をより多くの単協で取り組んでほしい。</p>

実現に向けて② けがや病気になっても対応でき、何事にもチャレンジしていける組合員を増やすため、**共済4本柱を意識した活動を通じて組合員に「たすけあいの輪」を広げましょう。**

方針書にある課題	19上半期の成果	19下半期に向けた課題
<ul style="list-style-type: none"> 共済の制度について、大学生の学業継続のために必要な保障制度であることへの理解をしてもらいましょう。 共済の認知度を上げ、給付申請忘れを未然に防ぐため、組合員自身が共済に加入しているかを確認できるようにしましょう。 共済の「たすけあいの輪」を実感できるような取り組みを行いましょう。 	<p>新学期活動に向けて、新共済の学習会が多くの単協で実施された。同時に給付事例学習会も行うことで、大学生活の中での共済の必要性を具体的に学ぶことができた。</p> <p>加入促進では共済が「たすけあいの制度」であることを伝えようとする単協が見られた。</p> <p>在校生に加入状況を確認する活動もあった。</p>	<p>2018年度からの継続課題として、全ての生協で給付事例学習会を実施するには至っていない。またやり方に課題が残る単協もあります。</p> <p>加入促進の際に組合員に共済が「たすけあいの制度」であることを実感してもらえていない単協も多く存在する。また提案者の理解が乏しく自分の言葉で共済を伝えられていない人もいる。</p>

実現に向けて③ キャンパス内のすべての人が健康な生活を送れるよう、**大学保健管理施設との連携や、ブロックや行政、医療生協をはじめとする健康に関する活動と連携して、活動をレベルアップさせていきましょう。**

方針書にある課題	19上半期の成果	19下半期に向けた課題
<ul style="list-style-type: none"> 行政や大学の保健センター等と共催で食生活相談会や健康啓発活動などの取り組みができるようにしましょう。 健康な食生活を送れるように、生協店舗を活用しましょう。またブロック連帯も活用しましょう。 	<p>他団体と共催で行った取り組みでは、単協だけではできない取り組みも行うことができ、組合員により自身の健康について考えてもらうきっかけを与えることができていた。</p>	<p>他団体と共催で取り組むことに関してハードルを感じている単協も多く見られる。協力することでのようなメリットがあるのかなど具体的な事例などを交えて学び合う必要がある。</p> <p>他団体との協力・共催が恒例になっている単協では、「なぜ協力するのか」を企画実施側が深く考えることができていない様子も見られる。</p>



組合員のありたい姿(2)：安全・安心

安全・安心にキャンパスライフを送り、健康な心身で何事にもチャレンジしていける組合員。

実現に向けて①

3 すべての人に健康と福祉を **4** 質の高い教育をみんなに

**京都府立医科大学
・府立大学生協（府大）
「飲酒ゴーグル体験」**



事前にとったアンケートから飲酒や飲酒事故の危険性があることがわかりました。新入生に「未成年」缶バッチを配布し、正しい飲酒方法についての冊子配布や飲酒ゴーグルを装着してドライブシミュレーター体験などを行いました。
組合員自身が飲酒の危険性について知る機会になりました！

実現に向けて②

3 すべての人に健康と福祉を **4** 質の高い教育をみんなに **17** パートナースHIPで目標を達成しよう

**近畿大学生協
「新学期サポーター
研修」**（K's NEWS新学期報告020）



今年から導入した新学期サポーター制度。共済連の職員に協力を仰ぎ、サポーターが共済について学ぶ機会を設けました。学生委員ではない学生組合員が共済に触れ、自分の言葉で共済について説明できるようになりました！
普段共済について意識していない学生が共済を知り、さらに新入生や保護者に対しても丁寧に説明ができました。

実現に向けて③

3 すべての人に健康と福祉を **17** パートナースHIPで目標を達成しよう

**立命館生協BKC
「自転車点検会」**



自転車点検を軸とし、点検の待ち時間に安全マップブース・イヤホンブル・飲酒ゴーグル体験ブース、共済説明ブースを設置し、各ブースを回ってもらいました。
安全マップを作成する際に地元の警察の協力を仰ぎ、事故の多い場所を聞き取り、組合員のより安全な自転車交通を支えることに繋がりました。

ブロックでは…

3 すべての人に健康と福祉を **4** 質の高い教育をみんなに **17** パートナースHIPで目標を達成しよう

**関西北陸ブロック
「食生活相談会に
向けたK's NEWS」**



食生活相談会を行う利点や相談会を行うにはどのような手順で行えばいいのかなどを簡単にまとめ、会員生協へ発信しました。

[広報] での工夫

17 パートナースHIPで目標を達成しよう

**関西北陸ブロック
「前期ブロック共済ボードコンテスト」**



共済月間に向けて共済の取り組みを活発にするため、準備期間であるうちから新入学生委員とともに共済について学び、ボードを作ってみよう！という企画。共済ボードは組合員に広く知らせることができるとツールのひとつです！

[店舗] での工夫

3 すべての人に健康と福祉を **17** パートナースHIPで目標を達成しよう

**大阪樟蔭女子大学生協
「もぐもぐ女子」**



食堂でもらったレシートの三郡点数表示の緑が1点以上だと、抽選に参加できる企画。この企画に連動して、Twitterでは緑が1点以上になる食べ合わせなどを紹介しました。
3 群点数を意識しながら食堂のメニューを選ぶ組合員が増えました。



下半期、ブロック事務局は…

- ✎ 全国セミナー参加者の後追いや全国共済月間を軸に、具体的な取り組み・行動の提案やツールの作成を行います！
- ✎ ブロック共済推進委員会や各エリア共済推進チームと一緒に、「たすけあいの輪」を広げていくために継続的に議論していきます！



下半期、会員生協のみなさんは…

- ✎ 給付事例学習会を行い、組合員の現状把握と理想の組合員像を部内みんなで考えていきましょう！
- ✎ 全国共済月間やブロック共済ボードコンテストなど連帯企画を機に組合員活動を考え、実践してみましょう！



組合員のありたい姿(3)：学びと成長

日々のキャンパスライフに対して目的・目標を持ち、将来なりたい姿に向けて成長し続けて行ける組合員

実現に向けて①

組合員が大学生活の実感や経験を自分の言葉で伝えることで、次世代の組合員が目的・目標をもってキャンパスライフを過ごせるような機会を作りましょう。

方針書にある課題

- ✓ 新入生が、キャンパスライフを具体的にイメージした上で新生活が始められるような提案を行いましょう。
- ✓ 学生組合員が入学時になりたい姿をイメージできるような取り組みや提案を行いましょう。

19上半期の成果

上回生を巻き込みながら自分たちの経験を基に新入生に向けて4(6)年間の大学生活を伝えられている単協が増えた。それぞれの時期に何ができるかまで伝えることができた。また、ビジョンナビゲーションセミナーなどのキャリアでの取り組みが進んだ。

19下半期に向けた課題

入学準備説明会で合格時期や/自宅・自宅外性などもっと「ひとりひとり」に寄り添った提案ができる。それぞれに何を知りたいかをきちんととらえる必要がある。また進んでいるWeb化に対応した接点を増やす取り組みを広報面からとらえ直すことも大切だ。

実現に向けて②

学生組合員が新生活のスタートから継続して、なりたい姿をイメージでき、達成感を持ちつつ目標に向けて行動できるよう、考える場面を作っていきます。

方針書にある課題

- ✓ 「コトモノ提案」で終わらない学年に応じた「コト-モノ-コト」提案を進めていきましょう。
- ✓ 学生組合員が「なりたい姿」へ向け、大学生活全体やその先のキャリア形成を具体的に考えられるようにしましょう。

19上半期の成果

「コト実現」のため、そしてこれからの大学生活を考えていく上でのPC講座の取り組みが進んだ。スタッフには講座スタッフと学生が一緒に行くことでこれからの生活実態を伝えながら学ぶことができた。

19下半期に向けた課題

コトモノ提案をしっかりと行えている単協は多いが、コト-モノ-コトへとつながるような新学期後の取り組みについては課題が残る。ただ提案して終わりになっていないか、なりたい姿を実現できるように大学生協の魅力発信や年間を通じた場づくりをこれからも考えていく必要がある。

実現に向けて③

生協で取り扱っている商品やキャリア事業・活動を発信したり、大学と連携したりすることで、大学内のすべての人が、自身の学びや成長に必要な情報や機会を持てるように工夫しましょう。

方針書にある課題

- ✓ 組合員のなりたい姿を実現するための手段として、生協が取り扱っている商品やサービスを提供できるようなコトモノ提案を行いましょう。
- ✓ 院生・留学生や社会人など様々な階層の人たちとつながることのできる活動を推進しましょう。
- ✓ 大学のキャリアセンターなどと連携することで、必要な情報や機会を提供できるようにしましょう。

19上半期の成果

大学との連携が進み、入学準備説明会の充実化が見られた。4(6)年間の大学生活や就職、留学などに絡めながら、大学・大学生協の事業を新入生と保護者の方に伝えることができ、よりイメージが容易になるような提案を心がけた単協が増えた。

19下半期に向けた課題

新学期活動においては大学や地域との連携を行っている単協は少ないように見える。新学期時期から日常期に継続して連携をしていきたい。



組合員のありたい姿(3)：学びと成長

日々のキャンパスライフに対して目的・目標を持ち、将来なりたい姿に向けて成長し続けて行ける組合員

実現に向けて①

3 すべての人に健康と福祉を

4 質の高い教育をみんなに

17 パートナシップで目標を達成しよう

京都大学生協
「特色入試合格者向け
入学準備説明会」(K'sNEWS新学期報告028)



合格発表が遅い法学部の特色入試合格者向けに行われた縮小版の説明会。参加者と同じ特色入試合格者の新3回生が大学生活を紹介しました。

自分の言葉で「私(主語が自分)の話」を軸にリアルな日常が語られることで、参加者が入学後の生活をよりイメージしやすくなりました。

実現に向けて②

4 質の高い教育をみんなに

17 パートナシップで目標を達成しよう

同志社生協
「Campus Life Seminar」



同志社大学出身の社会人(4年目)の方から、「バイト、サークル、インターンシップ、留学」など様々な話を聴きました。先輩の活躍は、新入生に希望や憧れを抱かせます。

また、このセミナーは入学直後だけでなく、6月にもう一度行われスタートから継続してなりたい姿をイメージすることができます。

実現に向けて③

4 質の高い教育をみんなに

8 働きがいも経済成長も

奈良県立大学生協
「資格情報掲示板」



資格講座や免許取得などの情報をポスターにまとめて掲示。読んでほしい対象や資格・講座の概要、申込の方法まで詳しく解説をつけた掲示物をつくりました。

ブロックでは…

9 産業と技術革新の基盤をつくろう

17 パートナシップで目標を達成しよう

関西北陸ブロック
「K's NEWS 新学期報告」



新学期の取り組みを職員事務局・学生事務局ともにK's NEWSの「新学期報告版」としてまとめ、日々発行しました。上半期は新学期版だけで64の取り組みを紹介し、リアルタイムの学び合いと取り組みのアーカイブにつなげています。

「広報」での工夫

10 人や国の不平等をなくそう

17 パートナシップで目標を達成しよう

福井大学生協
「サポセンチャンネル」



サポートセンターの学生がYouTubeで生協のいろいろについて紹介しました！動画で伝えることで、説明会やサポセンに来れない人にも口頭で丁寧に大学生活や大学生協の紹介ができました。

「店舗」での工夫

10 人や国の不平等をなくそう

17 パートナシップで目標を達成しよう

大阪大学生協
「阪大生の阪大生による
阪大生のための本」(K'sNEWS Vol.37)



組合員から集めたおすすめの本の特設ブースを作って販売しました。大学祭でのアンケートをもとにした多くの組合員を巻き込む企画で、大学生協のサービスの活用を提案することができました。



下半期、ブロック事務局は…

- ✎ 新学期時期だけでは終わらないように、年間を通じての取り組み・生協の魅力へとつなげた取り組みに注目します！
- ✎ 「なぜ私たち大学生協が行うのか」を各単協での取り組みを通じて感じ取れるようなサポートを模索します！



下半期、会員生協のみなさんは…

- ✎ 新学期の取り組みを日常につなげられ始めています。下半期は、日常活動を新学期の取り組みにつなげていきましょう！
- ✎ 「なりたい自分」をイメージし生活を振り変えることの大切さを学んでいきましょう！



組合員のありたい姿(4)：社会に生きる

社会の一員であることを意識・実感し、自分の考えを広げ、行動につなげていく組合員

実現に向けて①

組合員が社会の一員であることを実感できるよう、平和・環境をはじめとする様々な社会的課題について考える視点を増やすきっかけを作しましょう。

方針書にある課題

- ✓ 掲示物や企画・店舗などを通じた、平和・環境などの社会の動きを知る機会づくりを進めましょう。
- ✓ 大学生協の既存の事業や活動の中で、社会に目を向けてもらう機会を「ちょい足し」していきましょう。

19上半期の成果

SNSを用いて組合員に社会的課題について考えてもらう取り組みが徐々に広がってきた。組合員に発信する前に自分たちが学ぶということも大事にしている。新学期活動の中にちょい足しの考え方で、社会的課題について考えさせる要素が入った取り組みもあった。

19下半期に向けた課題

社会的課題について考えるきっかけを与える活動は会員生協にとってはなかなか実現しにくいところなのかもしれない。0を1にする活動を増やしていくように推進していく必要がある。

実現に向けて②

社会の一員であると感じた組合員が、大学生協の事業や活動を通して、周りの組合員や社会に対して行動が起こせるきっかけづくりを工夫しましょう。

方針書にある課題

- ✓ 生協購買や食堂の日常利用の場面を通じて、社会に影響を与えられるような活動を進めていきましょう。
- ✓ 社会的課題について考える組合員同士の交流を増やし、持続可能な社会に向けて第一歩を踏み出しましょう。

19上半期の成果

ちょい足しの考え方で新学期活動の中に、社会的課題の要素を取り入れた取り組みが増えてきた。また、時事問題に絡めた企画も実施できていた。

19下半期に向けた課題

組合員に行動を促せるような取り組みは増えてきているが、一時的なものが多い。自分が社会に影響を及ぼしたという自覚を持ってもらい、その行動を継続的に行ってもらえるようなアプローチがまだ弱い。

実現に向けて③

社会の一員として組合員が学び行動できる場面をつくるため、大学内の教職員や各種団体との連携、協同組合間協同や連帯の場を積極的に活用していきましょう。

方針書にある課題

- ✓ 大学や教職員と連携し、深く学べる機会を作りだしていきましょう。
- ✓ 連合会やブロック、府県連等が企画・運営する「社会的課題に関するセミナー」に参加し、学ぶ活動を増やしましょう。
- ✓ 協同組合間同士で連携して、組合員が学べる場を増やしていきましょう。

19上半期の成果

府県の行政と連携した取り組み、大学や学内団体と協力した取り組みを実施することができた。

19下半期に向けた課題

学生委員会内や生協内にとどまっている取り組みが多い。社会的課題に取り組もうとする輪を、大学生協を飛び越えて実現するというのは難しいのかもしれない。



組合員のありたい姿(4)：社会に生きる

社会の一員であることを意識・実感し、自分の考えを広げ、行動につなげていく組合員

実現に向けて①

甲南大学生協
「合格者保護者説明会
～大学生活のための予備知識～」



池田泉州銀行に働いておられる卒業生を講師に招き、クレジットカードを使う上での注意すべきことを新入生とその保護者に伝えました！

新入生と保護者が一緒にいる場で提案することで、社会に出てからのリスクを**考えるきっかけ**を与えることができました。

4 質の高い教育をみんなに

12 つくる責任 つかう責任

実現に向けて②

立命館生協OIC
「選挙企画」(K'sNEWS Vol.032)



若者の選挙投票率が低い現状と2019年夏に参議院議員選挙があることから、投票を体験することで選挙に関心を持ち行動に移してもらうために行いました。6種類の商品を政党に見立て、それぞれの魅力をマニフェストにまとめました。本物の選挙箱を茨木市から借りたり、選挙に関するクイズを実施したりと感心を生むきっかけにする工夫も見られました！

11 住み続けられるまちづくりを

17 パートナーシップで目標を達成しよう

実現に向けて③

大阪大学生協
「大学祭における環境活動」
(K'sNEWS Vol.044)



5月に開催された大学祭「いちよう祭」にて環境活動を行いました。組合員や大学生来場者にリサイクル可能な食品容器、再使用が可能なリターナブル容器などを提供しごみの削減に取り組みました。大学祭実行委員会や大学と協力しての実施です！

13 気候変動に具体的な対策を

15 陸の豊かさも守ろう

ブロックでは…

京滋・奈良エリア
「エリア学生委員会アイブレ」

エリア学生委員会(正副学生委員長が集まる会議)にて、推進分野(防災・環境)に関連したクイズを行いました。

学生委員会をまとめる立ち位置である学生に、エリアの場で社会的課題に目を向ける機会をつくることができました。



災害の危険から一時的に逃れる場合、適切な「避難場所」をすべて選びなさい

4 質の高い教育をみんなに

17 パートナーシップで目標を達成しよう

[広報] での工夫

兵庫県立大学生協
「#ツタエルヘイワ」



日常にある平和に関してTwitterを用いて組合員に向けて発信しました。Twitterを用いることで、組合員にも発信した内容が届きやすく、組合員に平和について考えるきっかけを与えられました！

16 平和と公正をすべての人に

17 パートナーシップで目標を達成しよう

[店舗] での工夫

奈良教育大学生協
「防災WEEK」
(K'sNEWS Vol.33)



1週間にわたり生協の食堂・店舗で防災グッズの展示・販売、非常食の試食会、クイズ掲示、Twitterで防災に関する動画の投稿を行いました。生協を利用する多くの人にアピールできました。

11 住み続けられるまちづくりを

17 パートナーシップで目標を達成しよう



下半期、ブロック事務局は…

- 「考えよう!」「取り組もう!」と積極的に提案していきます!
- 全国セミナー終了後の事後交流会をブロック全体で実施します。
- それぞれの課題はすべてつながっているので、ひとつ分野に固執せず社会的課題を推進することを意識したアプローチをします!



下半期、会員生協のみなさんは…

- 全国セミナーに行って感じたこと、考えたことを深めていきましょう!
- 考えたことを積極的に行動に移していこう!
- 上記2つのことを実現するために、連帯の場や学生事務局を積極的に活用していきましょう!

SDGsと大学生協

SDGsは、経済・社会・環境の3つの側面で持続可能な開発を進めることを目指しており、開発の中で誰一人取り残さないこと“*No one will be left behind*”を理念としています。

生協は、営利を目的とせず人と人との結びつきでより良い生活を実現していく組織で、消費者組織であると同時に事業者であり、利用者である組合員が意思決定や運営に参加できるという組織特性を持っています。

大学生協は組合員の参加を活発にし、協同体験を広げ、人と地球にやさしい持続可能な社会をつくることを基本的な使命としており、その理念はSDGsの基本理念と基本的に重なり合うものです。学生を主たる構成員とする大学生協は、未来社会の担い手により構成された協同組合といえます。持続可能な社会を実現するために、組合員どうしがともに学び合い、考え合い、話し合い、行動することが大切です。

関西北陸ブロック半期総括では、各会員生協の取り組みについてSDGsとの関連性をマッピングすることで、社会的な責任と役割の自覚をブロックに広げ、取り組みを推進していきます。



2019年6月29日 発行

【作成】全国大学生協同組合連合会 関西北陸ブロック 学生事務局

【発行】全国大学生協同組合連合会 関西北陸ブロック

事務局長 風折 昌樹 (m.kazaore@u-coop.net)

学生委員長 四方 遼祐 (shikata.rs@fc.univcoop.or.jp)

〒532-0004 大阪府大阪市淀川区西宮原 2-7-15 大学生協大阪会館

TEL : 06-7659-9800

H P : <https://ksnet.u-coop.net/>